

AC入試について 知りたい方は、

こちらから開いてください。▶

国際科学オリンピック 特別入試について 知りたい方は、

▶▶ こちらから開いてください。

IMAGINE
THE
FUTURE.

AC入試

- ✓ 自己推薦型（書類＋面接）の入試です。
- ✓ 自分で課題を見つけ、解決する能力を評価します。
- ✓ 現役生、過年度生、社会人。大学入学資格を持つ方を広く対象としています。



◎アドミッション・ポリシー

志願者の最近2年間、又はそれ以上の長期にわたる継続的な取り組みから「問題解決能力」を評価します。この入試の合格者にふさわしい志願者がいないと判断した場合は、募集人員どおりに合格者を決定することはせず、個別学力検査等（前期日程）の募集人員によって、その人員を充足します。以下の各学類・専門学群のアドミッション・ポリシーと併せて評価します（最新のアドミッション・ポリシーは学生募集要項で確認してください）。

◎自己推薦資料テーマ例

近年のAC入試で合格した先輩たちの自己推薦資料テーマです。AC入試は今まで行ってきた活動や研究に基づく自己推薦内容を評価する入試です。これらの例にとらわれず、思い切ってチャレンジしてみましょう。

実施学群・学類		アドミッション・ポリシー	募集人員	自己推薦資料テーマ例
人文・文化学群	人文学類	人文系の学問に関わる専門的知識を主体的に吸収し、自己の判断力を磨いていく能力と創造的な問題解決能力を有する人材を選抜します。	5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 考古学研究とその視点—下野型古墳の形態 ■ SSHの取り組みから、人間存在の意味を問う ■ 今に生きる庚申信仰 ■ 戦時下の弾除け信仰の隆盛と衰退
	比較文化学類	文化・社会に強い関心と知識を持ち、特定の専門分野について具体的に個性的なテーマを設定し、そのアプローチと内容に関して独自の研究成果を挙げている者を選抜します。	5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 表現手段としての俳句からの発想 ■ 他文化問題の研究—宗教・文化・衛生— ■ メディアミックスが広げる娯楽メディアの可能性 ■ 身体論としての舞踏—その表現の可能性
	日本語・日本文化学類	日本語や日本文化、国際交流や異文化理解について独自の視点を持ち、自ら問題を見出し、解決する能力を重視して選抜します。	3	<ul style="list-style-type: none"> ■ 異文化交流は受信と発信—フィンランド留学から ■ アナウンスと俳句から見た日本語 ■ 演劇部での活動と言葉への関心 ■ 日本人女性の名前の変遷
生命環境学群	生物学類	生物世界や生き物の仕組みに対する強い興味を持ち、自ら設定したテーマに関してユニークな研究をし、その結果を分析して、独善的な考えに陥ることなく、科学的及び論理的にレポートにまとめ、それを具体的に発表する能力を評価します。	3	<ul style="list-style-type: none"> ■ アカガエル2種の繁殖期に関する研究 ■ ミジンコの走性に関する研究 ■ ショウジョウバエの抗菌ペプチド合成が蛹化に及ぼす影響 ■ 複素ピタゴラス数の構造について
	生物資源学類	生物資源及び関連事項に対して強い興味と問題意識を持ち、自ら問題を発見し解決に取り組む能力と、それを他人に伝え論理的に説明する能力、そして生物資源に関連する基礎学力と学習意欲を持つ人材を選抜します。	4	<ul style="list-style-type: none"> ■ ビロールの電解重合 ■ 環境問題解決を志して ■ 国内飼料自給率改善とシステムの活用を目指して ■ クズの生態系内における異種個体群の関係

実施学群・学類		アドミッション・ポリシー	募集人員	自己推薦資料テーマ例
生命環境学群	地球学類	高等学校において高度な基礎学力を身に付けた志願者から、地球環境や地球進化に強い好奇心を持ち、自ら設定したテーマに対して、創造的かつ問題解決志向で取り組む能力を持ち、それを表現する能力のある人材を選抜します。	2	<ul style="list-style-type: none"> “科学のもり”を歩いてー科学館大好きクラブ、SSH、地学部、生物部 気象モデルのシミュレーション 水質汚染による環境破壊の課題と展望 岐阜地域の地質―百々ヶ峰の調査
	数学類	数学に対する強い好奇心を持続的に有していることを重視するとともに、独自に課題を設定し解決する能力および基礎学力を総合的に評価します。	2	<ul style="list-style-type: none"> ガウス整数上における二平方和の定理 吉本キューブの研究 非整数階微積分について 閉曲面の同相類の決定
理工学群	物理学類	自然科学に対する持続的な強い関心、独自に問題を発見し解決する高い能力、物理学に関連する基礎学力、そして物理学への学習意欲を総合的に評価します。	2	<ul style="list-style-type: none"> レーザー発振機の実作 彗星、超新星の観測 大気の動きの理論研究 ワイヤーチェンバーを使った宇宙線の測定
	化学類	化学及び関連事項に対する強い関心を持ち、独自に問題を発見し、明確な目標のもとに主体的に学習し、問題解決する高い能力を総合的に評価します。	2	<ul style="list-style-type: none"> 化学発光の研究 腐敗・発酵を利用した発電の研究 有機化合物の合成 BZ反応の停止に関する研究
	工学システム学類	本人からアピールされた、今までの経験、あるいは、ものに継続的に取り組む態度、論理的な文章を作成する能力、数学的思考能力、コミュニケーション能力に基づいて、技術者になるという明確な目的意識、並びに、興味の広さと深さ、積極性、行動力、表現力を評価します。	8	<ul style="list-style-type: none"> 缶サット甲子園、宇宙工学 放射線発電の研究、衝撃波による食品の調理 ロボット研究・開発など ラグビー、人間の行動の測定
	社会工学類	数学と外国語の基礎学力を有し、社会システムについての問題を発見・解決するまでの一連の活動を意欲的かつ主体的に行うことのできる明確な目的意識と勉学意欲を持つ人材を選抜します。	5	<ul style="list-style-type: none"> 地方都市におけるまちづくりに関する地理学的研究 津波被害と減災に関する多角的調査研究 地方都市再生問題の事例研究 都市部における電線類地中化を考える
	情報科学類	情報科学や情報技術、または関連する分野に強い関心を持ち、自ら研究課題と明確な目標を設定して問題の分析や解決を創造的に図る意欲と能力を評価し、その過程と結果を論理的に説明することのできる人材を選抜します。	8	<ul style="list-style-type: none"> 知能ロボットコンテストなど ソフトウェア作成（プログラミングコンテストなど） ユーザインタフェースの開発研究 セキュリティの研究（セキュリティコンテストなど）
情報学群	情報メディア創成学類	コンテンツやネットワークメディアを支える情報メディアの科学と技術において、研究課題を自ら設定する創造性と意欲、課題を緻密に分析し創造的に解決する問題解決能力、その過程および結論を論理的に説明できる能力を総合的に評価します。	4	<ul style="list-style-type: none"> ARを使用したデバイスレス操作の研究 3DCGを利用した生体流体解析 ゲーム展示用ランチャとゲーム制作、日本情報オリンピックなど 防災教育における情報コンテンツの導入
	知識情報・図書館学類	社会における情報の伝達や知識の創造に関して幅広く興味を持ち、関連した課題を自ら発見し、分析・解決していく能力を評価します。課題の分析結果を論理的に説明することや、説得力のある提案ができることも評価します。	5	<ul style="list-style-type: none"> 図書館による創作活動支援の可能性について 「地震を考えるサイト」の製作と運用 文芸部の活動を通じた表現方法の追求 東日本大震災の記録保存について 放送コンテストでの番組製作における工夫
体育専門学群		ひとつの運動種目における優れた技能を重視し、自主的な実践活動における科学的知識の活用と論理的思考能力を多面的に評価します。	8	<ul style="list-style-type: none"> バトミントン上達のための多角的アプローチ 混成種目で勝ち抜くためのプランニング 跳躍と障害走の二刀流への挑戦 クライミングのフィジカル・スキル・ブレイン ラートの普及と発展を目指して ダンスと社会―地域に根差した舞踏団とは
芸術専門学群		問題発見・解決能力、行動力などの一般的能力に加え、芸術の専門領域に関する意欲、資質を評価します。	5	<ul style="list-style-type: none"> 臨書から創作への三年間―傳山書法を通じて 社会における建築デザインのあり方 呉昌碩の書に取り組んで 中高一貫教育校における美術活動を通して

入学者はこんな人

人と人をつなぐ場としての図書館の理想像を追求したい



常川 真央さん

筑波大学大学院 図書館情報メディア研究科 5年
図書館情報専門学群卒業
埼玉県立蕨高校出身

本 が好きで学校ではずっと図書委員を務めていましたが、高校でプログラミングを覚えたことで、図書館に対する考え方が変化してきました。デジタル技術を使えば、本を借りて知識をインプットするだけの場所だと思われがちな図書館に、新しい機能を見い出せるのではないかと考えたのです。それを追求できる学問分野は図書館情報学しかないと思い、筑波大学の説明会に参加したところ、AC入試を勧められました。そこで、図書委員とパソコン部の活動、知人の劇団の広報を担当した経験などを自己推薦書にまとめ、大学で新たな図書館像を創造したいとアピール。華やかな実績はありませんが、高校生活と入学後の学びを明確なビジョンにまとめられたことが評価されたのだと思います。

入学後は、授業や学内外の活動を通して、徐々に自分が理想とする図書館観を作り上げていきました。3年次には友人たちと新しい図書館システムを作るプロジェクトを立ち上げ、貸し出し履歴をもとに、同じ本を借りた人同士のコミュニケーションを促進するソフトウェアを開発しました。経済産業省の未踏ソフトウェア創造事業未踏ユース部門にも採択され、準スーパークリエイターの資格を取得できました。大学院進学後は、国立国会図書館の非常勤調査員を務めたり、図書館で本を媒介とした人のつながりを復活させるプロジェクトを立ち上げたり、書評のプレゼンによって読書人をつなぐブリオバトルなどの活動にも打ち込んできました。博士課程修了後は専門図書館に就職する予定であり、そこで専門家の人間関係づくりの活性化に貢献できればと考えています。

このようにAC入試は、大学入学後をかなり決定づけるところがあります。とくに、現状に何か「違和感」を感じ、その解決策を模索するために充実した大学生活を送りたいと考えている人には最適な入試だと思います。



共著者として初めて執筆した本が教科書に

中学生からの異文化体験が、今の私につながっている

外 国との最初の出会いはオーストラリアでした。中学生になると「世界を見てきなさい」と単身でホームステイさせられたのがきっかけです。当初は日本人との違いについて興味がありましたが、その後、高校に進学し、短期留学や国際ボランティアなど様々な国際的な活動を経験したこともあり、次第に自分の中で「○○人」というボーダーが消えていきました。同時に自国の文化への関心も高まり、「日本を世界に伝える人材育成」という視点を持つ日本語・日本文化学類で学びたいと考えるようになりました。

AC入試を受験するにあたって、こうした活動を通して何を学び、それを大学でどう生かしていきたいのかを何度も自分に問い直しました。実体験に基づいて「世界」と「日本」を共に理解したいという熱い想いや、将来への展望などをじっくり見てもらえる入試だからこそ合格できたのだと思います。

高校時代からアミニズムや先住民族の土着信仰に興味を持ち、とりわけペルーの先住民族ケチュア族に日本の神道との共通点を見出したこともあって、入学後は語学の勉強に力を入れ、2年次の8月から1年間ペルーに留学しました。現地では同じマイノリティである日系人とケチュア族のアイデンティティの抱き方の違いに驚き、「多文化共生社会におけるアイデンティティ形成」に強い関心を抱くようになりました。帰国後はこうした文化の多様性を知ってほしいと、筑波大生の海外チャレンジを応援するUTICの活動にも取り組んできました。

現在、インドでインターンシップを行っており、主に日本語学校の環境改善や教材開発に携わっています。今後は、日系南米人への理解を促進するような日本と南米をつなぐ活動や、世界の女性を見てきた経験から、女性の自尊心向上や安心して出産できる環境づくりなどにも関わっていきたくと考えています。



南インドのベジタリアン激辛カレー



建部 祥世さん(左)

筑波大学 人文・文化学群 日本語・日本文化学類 4年
東京都立国際高等学校出身

入学への歩み

第Ⅰ期

出願期間(郵送のみ)
2014年9月上旬

第1次選考
合格発表
2014年9月下旬

第2次選考
(面接・口述試験)
2014年10月上旬～中旬

最終合格発表
2014年10月下旬

入学手続き(郵送のみ)
2014年12月上旬

入学式
2015年4月上旬

第1次選考(書類審査)

次の書類を審査し、第1次選考合格者を決定します。

- 調査書
- 志願理由書:志願の理由を800字以内で所定の用紙に記述してください。
- 自己推薦書:あなたがこれまで主体的に、そして継続的に取り組んできた活動や研究の内容をもとに、自分の「問題発見・解決能力」を提示してください。また、大学でどのように学びたいのかを具体的に記述してください。分量・様式は自由です。
- 自己推薦書の根拠となる資料:これまでの活動や研究の過程で生まれたレポートや作品、制作物、賞状や証明書、活動の過程を記録したノートなどのコピーや写真を、自己推薦書本文の内容を補完する資料として添付することができます。

第2次選考(面接・口述試験)

30分程度の個別面接を実施します(必要に応じて延長される場合があります)。あなたが「自己推薦書」などで示したことを、あなた自身の言葉でさらに詳しく説明してください。また、大学で学びたいことについて、これまでの学習状況などについてもアピールしてください。



第Ⅱ期

2014年10月に入学
できる入試です。

※現役生は出願できません

理工学群
工学システム学類
のみで実施

募集人員 ●若干名



出願期間(郵送のみ)
2014年6月6日(金)～
6月12日(木)

第1次選考合格発表
2014年6月26日(木)

第2次選考
(面接・口述試験)
2014年7月16日(水)

最終合格発表
2014年7月30日(水)

入学手続き
(郵送のみ)
2014年8月19日(火)～
8月21日(木)

入学式
2014年9月下旬(予定)

卒業
2018年9月下旬

募集要項(願書) 請求方法

本学のアドミッションセンター窓口(平日9:00-17:00 TEL.029-853-7386)及び東京キャンパス文京校舎(1階102号室)進学相談コーナー(平日10:00～17:00 TEL.03-3942-6903)で資料を入手できます。(平日:土、日、休日、年末、年始、本学の定める夏季休業を除いた日)なお、窓口にお越しになれない方は、次の方法で請求することができます。

(1) 本学のホームページから請求する方法

テレメールを利用して入学案内や募集要項等の資料を請求できます。

(2) 自動音声応答電話や携帯電話で請求する方法

1.下記のどちらかの方法で テレメールにアクセスしてください。

●自動音声応答電話の場合 IP電話:050-8601-0101

※IP電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約11円です。

●携帯電話の場合 <http://telemail.jp> (携帯電話各社共通アドレス)

※携帯電話で右のコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。

2.請求を希望する資料請求番号:581331をプッシュまたは入力してください。

3.あとはガイダンスに従って登録してください。



●ガイダンス・進学相談についてはこちらで
<http://ac.iit.tsukuba.ac.jp/ac/guide/index.html>

●これまでの「AC入試リーフレット」はこちらで
<http://ac.iit.tsukuba.ac.jp/ac/about/leaf/>

2018年3月の
早期卒業が可能です

過去8年間で8人中7人が
3年8ヶ月で卒業しています

AC入試 Q&A

Q. AC入試の選考で重視されるのはどんなことですか

A. 志願者の問題発見・解決能力を、最も重視します。

提出された自己推薦資料の内容をもとに、志願者の主体的・継続的な活動の中で、どのような問題の発見と解決があったのかを評価します。その際、活動の実績そのものを重視するのではなく、志願者がどのような工夫によってその実績を上げたのか、また、その実績をどのように認識しているのかを重視します。すなわち、結果に至る過程や、活動の「質」が重要になります。また、志願者が大学で学びたいことが、志願する学類・専門学群で学習可能か、志願先の研究教育内容と志願者の目的とが合致しているか、ということも重視します。人物評価の入試ではありません。

Q. 問題発見・解決能力のある人とは、具体的にどういう人ですか

A. 主体的な興味や関心から、自分自身の問題意識を育て、その解決に向けて独自の視点から工夫や努力を続けている人です。

例えば、物理や化学の実験、歴史の研究、生物の観察などを続ける過程で、自分自身の問題意識をもち、さまざまに工夫しながらその問題に取り組んできた人です。また、生徒会活動、課外活動、ボランティア活動などの中で独自の問題意識を育て、解決に向けて工夫を続けてきた人です。

このような人には「主体的に学ぶ力」という大切な学力が備わっていると考えられます。AC入試では、志願者がそうした活動を続ける中で、何をどう考え、どう行動したのかを評価します。過去の合格者の自己推薦内容はwebページでも公表しています。 <http://ac.iit.tsukuba.ac.jp/ac/about/report/>

Q. 出願するにはコンテストや競技会での入賞歴や何らかの資格取得、検定合格などが必要ですか

A. 必要ではありません。

AC入試は資格や実績そのものを評価する入試ではありません。資格や実績の有無にとらわれず、これまでの自分の活動(研究、課外活動、趣味など)における問題の発見と解決の過程を具体的に提示することが大切です。問題解決の過程で取得した資格や合格した検定、入賞歴などがあれば自己推薦の資料に加えることはできます。その資格や検定が自分の活動の中にどう位置づけられるのか、きちんと説明できることが大切です。ただし、体育専門学群では運動競技の実績を、他の資料とともに重視して評価します。競技の実績がまったくなければ合格はきわめて困難です。

Q. SSH*などの共同研究の成果を自己推薦に利用できますか

*スーパーサイエンスハイスクール

A. 利用してもかまいません。

 もっとAC入試が知りたい方はこちらから開いてください。

ただし、その共同研究において志願者本人が担当した部分や、志願者本人の具体的な貢献を、自己推薦書の中で明確に示す必要があります。他のメンバーが担当した部分や、他のメンバーが成し遂げた問題解決とはっきりと区別して、志願者本人の問題発見・解決能力が読み取れるように提示してください。

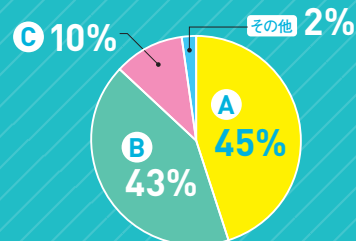
Q. 国際科学オリンピックでの成績は評価の対象になりますか。

A. AC入試は実績そのものを評価する入試ではありません。

志願者の活動における問題発見・解決の過程を重視して評価します。一方、国際科学オリンピック特別入試は実績を重視して評価します。

Q. 高校の成績(評定平均値)は重視されますか

A. 主として、入学後、支障なく学習できるかどうかを確認するための参考として使われます。合格者には、結果的に成績がよい人が多くいますが、出願要件ではありません。



平成20～23年度合格者の高校成績(A・B・C)の割合

Q. なぜ、募集時期、選考時期が早いのですか

A. AC入試は、志願者の継続的な活動における問題発見と解決の過程を評価する試験であり、試験当日の偏差値的学力を評価するわけではありません。

したがって高校3年の早い時期でも適切な選抜が可能であると考えられます。「早く進路を決めて、入学までの時間でさらに自分の勉強を進めたい」という志願者を求めているのです。また、早めに実施することで、センター試験や個別学力検査への影響を最小限にできると考えています。決して早く学生を確保することが目的ではありません。このことは、合格者数が必ずしも募集人員を充たさないことから分かるものと考えています。

Q. 必ず募集人員どおりに合格者が決まりますか

A. いいえ。

ふさわしい志願者がいないと判断した場合は、合格者が募集人員より少なくなり、欠員分は個別学力検査等(前期日程)に振り替えられます。一方、AC入試で募集人員より多く合格することもあります。その場合でも、個別学力検査等(前期日程)の募集人員が減ることはありません。

Q. 筑波大学の推薦入試等と併願できますか

A. 推薦入試や一般入試(前期・後期日程)と併願できます。国際科学オリンピック特別入試とは併願できません。

15分程度の面接などを含めて総合的に合否を判定します。大学入試センター試験は課しません。

Q. 筑波大学のAC入試や推薦入試等と併願できますか

A. AC入試(第1期)とは併願できません。推薦入試や一般入試(前期・後期日程)とは併願できます。

もっと国際科学オリンピック特別入試が知りたい方はこちらから開いてください。

受験生のための筑波大学説明会

カリキュラム説明や模擬授業、施設見学なども行います。

この機会にぜひ、筑波大学を体験してください。

申し込み方法など詳細はホームページで6月上旬頃にお知らせします。

<http://ac.iit.tsukuba.ac.jp/ac/>

アドミッションセンター

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

TEL.029-853-7385 FAX.029-853-7392

<http://ac.iit.tsukuba.ac.jp/ac/index.html>

詳細は筑波大学
ホームページへ

筑波大学 で 検索

国際科学オリンピック 特別入試

世界の科学技術を リードする人材をめざして

世界中の中等教育課程にある生徒（日本では主に高校生）が参加する、世界的な科学技術コンテストである「国際科学オリンピック」。

国際科学オリンピック特別入試は、同大会に日本代表として選抜された人、代表選考などで一定の成績を収めた人が対象となる入試です。明確な目的を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を、従来の試験とは違う観点から評価します。

◎アドミッション・ポリシー

国際科学オリンピックに出場した者、またはその代表選考会等において一定の成績を収めた者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価して選抜します。



国際科学オリンピック特別入試の概要

【募集学類】

- 生物学類 ●地球学類 ●数学類 ●物理学類 ●化学類
- 情報科学類 ●情報メディア創成学類

【対象となるオリンピック】

- 数学 ●化学 ●生物 ●物理 ●情報 ●地学 ●地理 ●その他*

*情報科学類、情報メディア創成学類には、IPA「末踏IT人材発掘・育成事業」採択者も応募できます。

【選抜方法】

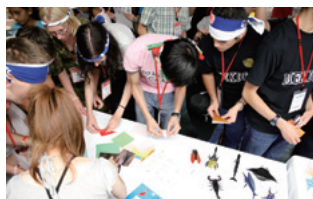
エントリーシートの内容に基づいて、15分程度の個別面接により行います。ただし、生物学類のみ書類審査による第1次選考を行います。

>> 合否判定に関して

明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を重視し、志願する学類での学習に必要な適応性について、個別面接を行い、提出資料などの内容を含めて総合的に判定します。

【過去の実績】

	受験者数	合格者数
2014年	10人	5人
2013年	16人	7人
2012年	10人	7人
2011年	13人	9人
2010年	8人	6人
2009年	11人	6人



日本文化に触れて交流を深める参加者たち
(2009国際生物学オリンピック/つくば市)

【選抜のながれ】

願書期間（郵送のみ）9月初旬

面接・口述試験 10月

生物学類出願者のみ
第1次選考結果通知 9月下旬

合格発表 10月中旬～下旬

入学手続き 11月下旬～12月初旬

入学式 4月

TOPICS

入学後も高校時代の研究を
継続できる環境があります！

先導的研究者体験プログラム[ARE]は、全学群の1～3年生が応募できる研究活動支援プログラムです。研究計画書を提出し、採用されれば、研究費と研究場所が提供されます。高校時代からの研究を継続したい人にはピッタリのシステムです。

詳しくはWebをご覧ください。
<http://www.esys.tsukuba.ac.jp/AC/RS>

先輩が語る

国際科学 オリンピックと 大学生活



内海 呂さん

総合研究大学院大学先端科学研究科
生命共生体進化学専攻1年
生命環境学群 生物学類卒業
千葉県立東葛飾高等学校出身

本多 健太郎さん

筑波大学大学院人間科学総合研究科
フロンティア医科学専攻2年
生命環境学群 生物学類卒業
愛知県立岡崎高等学校出身

科学を学ぶ学生にとって刺激に満ちた研究環境

——2人とも国際生物学オリンピックの日本代表に選ばれていますが、高校時代はどんな活動をされていたのですか。

本多 母校がSSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）に選定されており、スーパーサイエンス部でタンポポを研究していました。タンポポには在来種と外来種があり、お互いに交配することはないというのが定説でしたが、遺伝子を調べてみると、実際には雑種が存在することが分かりました。遺伝子を調べるのは手間がかかるので、形態、性質など、それ以外の判別法も探りました。

内海 小さい頃から昆虫が好きで、高校では生物部に入り、クマムシを研究しました。コケの中に生息し、熱や放射線の影響を受けにくい生物です。見た目のかわいらしさと、まだ生態が解明されていない部分が多いところに興味を覚えて、研究対象に選びました。

——筑波大学を志望した理由は何ですか。

本多 国際生物学オリンピックの日本代表とし

て、カナダの大学に行った際、引率の先生の多くが筑波大学の先生で、自分の研究内容を話してくださいました。その交流を通して、こんな柔軟な発想を持った先生方のもとで学びたいという思いが強まっていったからです。

内海 日本代表の生徒を集めた合宿が筑波大学で行われ、研究環境の素晴らしさに一目惚れしたのが最大の理由です。国際科学オリンピック特別入試の合格者は、希望すれば1年次から研究室に入り、早くから専門的な研究が進められる「特別研究生制度」が設けられていることも魅力でした。高校生の段階から、専門的な研究への目的意識が明確な人にとっては、理想的な環境だと思います。

——現在はどのような研究を進めていますか。

内海 生物は群れを作り、社会構造を構築していきます。サルと昆虫を対象として、それがどのように進化してきたのかを研究しています。

本多 当初は細胞の研究をしていたのですが、次

第に細胞そのものの追求よりも、その性質を踏まえた応用的な研究に興味に移り、現在は睡眠と覚醒がどのように制御されているのか、脳の中核調節機構を研究中です。

——筑波大学で学ぶ魅力を教えてください。

本多 日本生物学オリンピックは、2年に1回、筑波大学で開催されています。私は学生スタッフとして、そのサポートに携わっています。大会に関与している先生方、未来の科学者である高校生と、縦断的、横断的な交流が図れるところに面白さを感じています。

内海 大学の周辺には最先端の研究所が数多くあり、私は国立科学博物館、高エネルギー研究所、土木研究所などのセミナーや一般公開などに積極的に参加しています。また、研究所で実験補助などのアルバイトを経験したこともあります。日本有数の研究学園都市だからこそ可能な体験です。筑波大学に入れば、刺激に満ちた学生生活をおくることができます。